

# 矢作川流域圏懇談会通信

山部会編 vol. 2



発行日：平成 25 年 7 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

## ◆第 10 回山部会WGを開催しました！

7 月 20 日（土曜日）に第 10 回山部会WGが開催されました。  
今回の WG では、山部会で取り組んでいる 4 つのこのうち、山村再生担い手づくり事例集と矢作川流域圏木づくりガイドラインの 2 つについて話し合いました。

日時：平成 25 年 7 月 20 日（土）9:00～12:00  
場所：根羽村老人福祉センター  
参加者：12 名（事務局含む）



## ◆主な会議内容

### 1. 山村再生担い手づくり事例集について



矢作川流域の中山間地域振興に関わる団体・個人の活動情報を共有し、ネットワーク化を支援していくことを目的とした山村再生担い手づくり事例集は、山村の担い手のいる現場に行き、直接、現場の人たちの苦悩や喜び・課題に触れることを目的とした調査からはじめることとなりました。

調査の概要は以下の通りです。

- 調査先団体：根羽村、恵那市、岡崎市、豊田市の山村で活動する団体（具体的な団体名は裏面参照）
- 調査者の決定：調査参加希望者を募集し、山部会で調整し決定します。
- 調査の方法：質問の方法・聞き方などは、調査する人の自由ですが、質問の内容は、マニュアル（作成中）に記載のある項目とします。また、1 団体あたり 2～3 時間かけて調査をし、2 人位で実施することを想定します。



### 2. 矢作川流域圏木づくりガイドラインについて



矢作川流域圏木づくりガイドラインは、矢作川流域圏の木材利用を住民・事業者・行政が一体となって推進するきっかけづくりを目的とし、3 力年かけて策定する予定です。

1 年目の今回は、「木づくりガイドラインははじめの一歩」として、参加者の方々が、「森や木を好きになったきっかけや原体験・感動した場面と、その体験を他の方に知ってもらうにはどうしたらよいか」について意見を出し合いました。



### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、専門職 後藤  
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト（yahagigawa@ijinet.or.jp）までお送りください。



## ◆話し合いでの主な意見 (・意見 ▶回答)

### 山村再生担い手づくり事例集について

#### ●調査マニュアルについて

- 活動範囲が広域な団体もある。地図などを差し入れて紹介すればよいか。教えて頂きたい。(原田)
  - ▶ 活動範囲の記載の考え方は、活動拠点と活動範囲の両方を記載することがよい。(洲崎)
- 調査の行い方は取材に行く人のやり方に任せることでよいか。(今村)
  - ▶ よい。2人位で伺い、1団体2~3時間かけてやる。一日で多くても3団体程度の調査をこなすことを考えている。(洲崎)
- 調査先のインタビュー相手によって内容が変わるのは適切でないので、聞き取り相手の選定は、この点を意識して行うことがよい。(蔵治)

#### ●聞き取り相手について

根羽村、恵那市、豊田市、岡崎市それぞれの活動団体の概要について、情報共有を行いました。そのうえで、実際の聞き取り相手について検討しました。

現時点での聞き取り先の団体は以下の通りです。

**根羽村：**根羽村森林組合、根羽杉っこ餅、根羽村猟友会

**恵那市：**恵南森林組合、NPO 法人東濃・森林づくりの会串原支部、NPO 法人奥矢作森林塾、NPO 法人福寿の里自然倶楽部

**豊田市：**矢作川水系森林ボランティア協議会、とよた森林学校、とよた都市農山村交流ネットワーク、豊森なりわい塾、株式会社 M-easy、旭木の駅プロジェクト、千年持続学校、おむすび通貨、green maman、農業法人みどりの里

**岡崎市：**NPO 法人中部猟踊会、岡崎森林組合、おおだの森保護事業者会(山留舞会-やるまいかい)、じさんじょの会



#### ●矢作川流域圏木づかいガイドラインについて

- 森や木を好きになったきっかけや原体験・感動した場面と、その体験を他の方に知ってもらうにはどうしたらよいか」について意見を出し合いました。主な意見は下記です。

- ▶ 幼少の頃から木工が好きで、人工林の間伐を通じて森林にはまっていた。(原田)
- ▶ 森が身近な地域で育った。積木がぶつかり合うときに出る音等、木のもつ感覚がよい。(城田)
- ▶ 子供にとっては、森の手入れに使う道具などはスリルがあって面白い。(斉藤)
- ▶ 小学生の頃、工作で木工玩具を作り、道具の使い方を覚え、その後遊びが本格化した。(石原)
- ▶ 幼少の頃、家族で行く山登りが好きだった。木の匂いは安心感を与えるので好き。(長谷川)
- ▶ キャンプ時の悪天候に木の下で雨宿りをした際に、安心感を覚えたことが印象的。(森)
- ▶ 鎌倉の山と海で育つ。山と海には生きていく知恵が沢山あると感じている。(黒田)
- ▶ 生き物と木が好き。木のよさに魅せられ、少し前に自宅を間伐材で張り替えた。(沖)
- ▶ 北海道育ち。森には近寄ってはいけないルールがあったが隠れて遊ぶのが楽しかった。(南木)
- ▶ 東京都内でも奥多摩や飯能の山に親しみながら過ごした。小学生の時に作った木工作品を先生に褒められたことが印象的。都会の人に山に来てもらってイベントなどをするとよい。(蔵治)
- ▶ 学生時代、狭山丘陵で懐かしい風景に出会う。木に抱きつくほど感動し、研究者を志す。(洲崎)
- ▶ 子供の頃、犬小屋を木で制作した。登山が好きで、山頂から見る風景に感動している。(今村)

- 次回は「森や木がこんなふうになればいいのに」と感じることや、「そのために取り組む内容」について自分なりに考えておいて頂きたい。(今村)
- 映像、写真、子供の頃に自分で作った作品などがあると議論が盛り上がる。(今村)



### 今後のスケジュール(予定)

次回のWGを8月17日(土)に豊田市役所足助支所にて開催します。

### ◆情報提供

- 2013年11月2日(土)・3日(日/文化の日)：第6回いい川・いい川づくりワークショップ開催

